

目標達成計画

作成日: 平成 29年 3月 15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	地域で住んでいる方も「おたっしやカフェ」等に参加するなど、ホームの活動を理解されサルビアに足を運んでくださる方が多くなったが、交通手段が無いとの事で来れない方もいる。カフェの内容も見直すとともに、地域密着活動として他(絵手紙サークル等)にも行う事が出来ればと思います。	入居者の役割(コーヒーを出す人・受付をする人)を引き出す。カフェの送迎が出来るように体勢を整える。地域力を引き出す。介護予防的な事を増やしたい。	1.カフェ活動参加を入居者のケアプランに盛り込み、その方の生きがいにつなげていく。 2.送迎が出来るようなシステム作り。 3.カフェで楽しく過ごしていただくとともに、地域の方の発表の場でもありたい。 4.相談が気軽かつ継続的に出来る体勢作り。	12ヶ月
2	23	入居者の思いを汲み取る努力はしているが、一部職員が頻繁に入れ替わりがあった。このため対応の差が出てきたり、ケアの質の低下を感じる。入居者の行動と業務のみに気持ちがいきってしまい、心の声を聴く事が出来ていない場合がある。	業務や入居者の行動のみに職員の意識がいくのではなく、入居者の言葉に託された心の声を聴き、心のケアをどの職員も出来るようにしていく。	1.「ひもときシート」を活用して、入居者の立場になって対応出来るような職員育成。 2.外部研修に参加してもらい、ホーム内で実践。 3.入居者の残存能力を引き出し、その人らしさが継続出来る様チームケア作りをしていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。